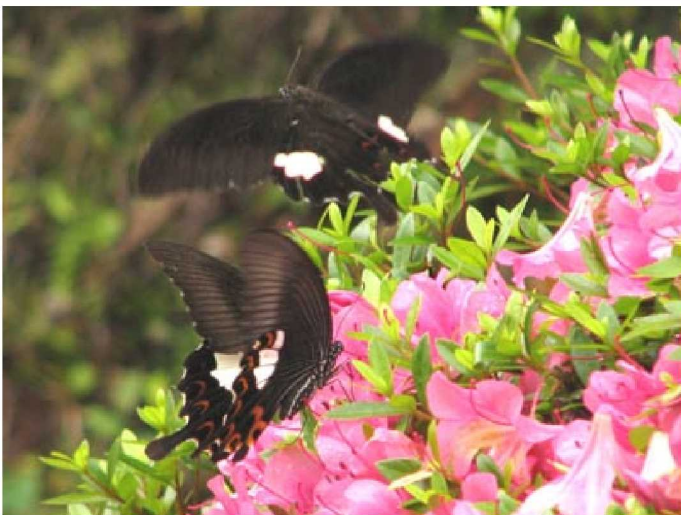
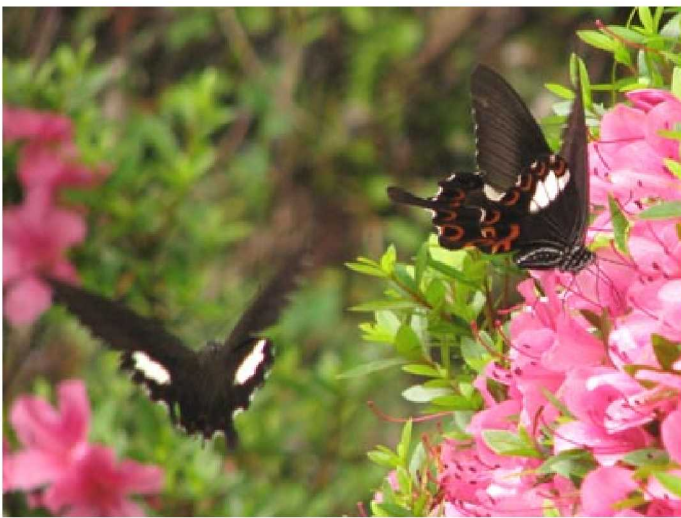


「今月の1枚」



モンキアゲハの乱舞

モンキアゲハ (チョウ目 アゲハチョウ科) *Papilio helenus nicconicolens* Butler

花から花へ優雅に移りゆく大型のチョウの一種、モンキアゲハのカップルです。関東以西の本州・四国・九州・中国・東南アジア・インドの暖温帯に分布しますが、近年では関東地方や南東北でも見られることがあります。チョウの中でもゆっくりと飛翔するため、西南日本では春先から秋までごく普通に見かけられます。幼虫の食草はミカン科カラスザンショウ等で

すが、柑橘類の葉も食草とするため害虫扱いされる場合もあります。 写真では分かりにくいですが、後翅の赤色斑紋が濃く、ツツジの花蜜を吸汁しているのが雌で、その後を追いかけて回しているのが雄です。残念ながら雄は雌に相手にしてもらえず、そのまま何処かへ飛んでいってしまいました。

余談ながらモンキアゲハの名前の由来は、その名の通り後翅に特徴的な大きい黄色の斑紋をもつ（紋が黄色い）チョウです。それに対して「モンキチョウ」は「紋があるキチョウ属（黄蝶）のチョウ」という意味で、モンキチョウは黄色い翅に黒い紋が入る黄色いチョウです。名前だけ聞くとちょっと複雑ですね。

（写真 2011年6月8日 四国支所構内で撮影）

（写真・文：松本 剛史）

（No.222 2011. 7.4 掲載）